

バックナンバーは「GUNMAS」および当センターHP (<https://mec.dept.showa.gunma-u.ac.jp/>) に掲載しています

地域医療研究・教育センター センター長あいさつ



地域医療研究・教育センター長の廣村桂樹です。昨年度に引き続き、本年度もセンター運営に携わることとなりました。副センター長には、池田佳生教授および松井佐知子副看護部長が昨年度に続きご就任くださり、心強い体制で新年度を迎えることができました。

当センターは、「臨床研修部門（臨床研修センター）」「スキルラボ部門」「男女協働キャリア支援部門」「看護職キャリア支援部門」「地域医療支援部門（群馬県地域医療支援センター、ぐんま医療人ネットワーク）」「看護師の特定行為研修部門（看護師の特定行為研修センター）」「管理運営部門」の7部門から構成されており、それぞれが連携しながら、群馬県の未来の医療を担う人材の育成とキャリア支援に取り組んでおります。

各部門の責任者としては、池田佳生教授（臨床研修センター）、田中和美教授（スキルラボ）、羽鳥麗子先生（男女協働キャリア支援部門および地域医療支援部門）、松井佐知子副看護部長（看護職

キャリア支援部門）、大高麻衣子先生（看護師の特定行為研修部門）が中心となり、活動を推進してくださっています。管理運営部門については事務部が担っております。

また、地域医療支援部門に含まれる群馬県地域医療支援センターでは、本年度より國代尚章部長（群馬県健康福祉部）がセンター長にご就任されました。今年度から群馬県の地域（医療）枠の定員が9名増加し、新たに26名（うち県外大学から4名）の新入生を迎えることができました。将来の地域医療を支える人材の一層の充実が期待されます。

本年度も、各部門が一体となって地域に根ざした医療人材の育成とキャリア支援を推進し、群馬県の地域医療の発展に貢献してまいります。引き続き、皆様のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

各部門の活動報告

臨床研修部門

新規採用研修医

よろしくお願いいたします！

今年度、医科7名・歯科1名の計8名の新入職研修医が入職いたしました。様々な出身大学、出身地、ご経歴のみなさんが、そろって群大病院で医師／歯科医師としての第一歩を踏み出し、日々研鑽を積まさせていただきます。病棟・外来のスタッフの皆様におかれましては、2年目研修医12名（医科7名、歯科5名）と併せて引き続き温かいご指導をいただけますよう、どうかよろしくお願い申し上げます。



研修医オリエンテーション ご協力ありがとうございました！！

4月1日から7日まで週末を挟んでの5日間、例年通り新入職研修医を対象にしたオリエンテーションを実施しました。内科、外科、検査部・感染制御部、輸血部、医療の質・安全管理部、システム統合センターなどの各科・部署の皆様にご多大なご協力をいただきました。誠にありがとうございました！

令和7年度群馬県新臨床研修医合同オリエンテーションについて

令和7年4月10日（木）に群馬会館において群馬県新臨床研修医合同オリエンテーションが開催され、当院ほか、県内臨床研修病院の研修医が多数参加しました。

当日は、山本一太知事や須藤英仁県医師会長からの挨拶のあと、群馬県総合医会や医師会の紹介が行われました。

特別講演では、おおい町国民健康保険名田庄診療所所長の中村伸一先生から講演をいただき、参加した研修医の皆さんは熱心に聞き入っていました。

各診療科の運営委員の先生におかれましては、研修医の参加についてご配慮いただきありがとうございました。



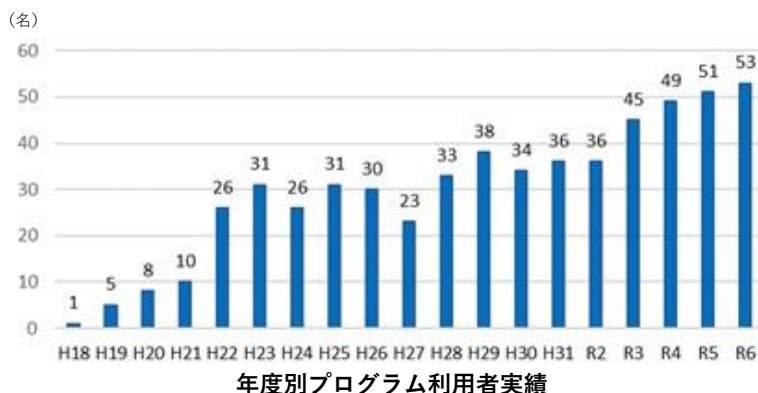
当日の合同オリエンテーションの様子

男女協働キャリア支援部門

医療人として輝くために

男女協働キャリア支援部門では、出産・育児・介護等で臨床現場を離れた医師が、無理なく通常業務に復帰できるよう、フレキシブルな勤務時間の選択を提案しています。令和6年度の利用者は53名で、平成18年度の部門開設以来、のべ188名の医師が、再教育プログラムである「医師ワークライフ支援プログラム」を活用しています。これまでに、プログラム修了者数は154名（81.9%）にのびります。

当部門では、キャリア形成に関するニーズ調査や個別面談を実施するとともに、医学科ダイバーシティ推進委員会や全学ダイバーシティ推進センターと連携し、ダイバーシティ&インクルージョンに関するシンポジウム、セミナーの企画・開催に取り組み、情報発信を行っています。また、県や県医師会と連携し、保育サポーターバンク委員会活動や医学生・若手医師に対するキャリア形成支援や啓蒙活動にも取り組んでいます。



短時間勤務を選択できる「医師ワークライフ支援プログラム」を活用し、特定医員(1週間あたり4日32時間勤務)・パート教職員(1週間あたり4時間以上30時間以下勤務)として、各診療科／部門で活躍しています。



地域医療支援部門（地域医療支援センター）

「医学生とのふれあい相談会・シンポジウム」へのご協力ありがとうございました

「埼玉・群馬の健康と医療を支える未来医療人の育成」事業として、3月2日、エテルナ高崎で医学生との相談会・シンポジウムを開催しました。本事業は令和4年度文部科学省ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業として採択されたものです。県境地域で活躍する医師の育成を目指し、埼玉医科大学と連携して、地域医療マインドを育む教育プログラムを開講しています。

ふれあい相談会では、中高生43名に参加いただき、群馬大学医学科生14名、埼玉医科大学医学生19名との交流をしました（関係者含め、計113名が参加）。

シンポジウムでは、富山大学医学教育学講座教授の高村昭輝氏から、「未来の医療人～地域医療を守るプライマリ・ヘルス・ケア医とは～」と題して、医学教育や地域医療について、中高生や医学生向けにご講演いただきました。会場参加、オンライン参加を含め、計184名にご参加いただき、盛大なシンポジウムとなりました。地域医療の課題、解決策などをともに模索していけるような有意義な時間となっていれば幸いです。

ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。



シンポジウム／ふれあい相談会の様子

春の地域医療セミナーを開催しました

2月下旬から3月上旬、臨床研修病院を中心とした県内病院（1～2医療機関/日）を見学するバスツアーを開催し、延べ14名の医学生が参加しました（群馬県臨床研修病院等見学バスツアー）。

また、令和4年度文部科学省「ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業」の教育プログラムとして「利根川プログラム」を開講しました。埼玉県と群馬県の県境病院をそれぞれバスで巡るツアーも行いました。桐生厚生総合病院－小鹿野中央病院、秩父市立病院－伊勢崎市民病院、東松山市立市民病院－太田記念病院の3日程を実施しました。事前学習と事後の振り返り学習を行うことで、地域やその地域での医療的課題について学び、フィードバックを行いながら、学生、教員の双方向性に意見交換する形式としています。「自ら」、「地域で」、「2大学合同で」学び、将来のキャリア形成につなげるようなプログラムです。

参加者は、県境地域について住民の視点に立ち、実際の現場を目の当たりにして考えること、地域医療で求められる総合診療・救急医療・感染症・周産期医療・小児医療・高齢者医療、多職種連携の重要性を知ることができました。

【群馬県臨床研修病院等見学バスツアー】



前橋赤十字病院



原町赤十字病院

【利根川プログラムバスツアー】



桐生－小鹿野
バスツアー



東松山－太田
バスツアー

新たに地域医療枠の増員となり、群馬県地域枠が新設されました

令和7年度の入学者から、群馬大学医学部医学科地域医療枠として、編入学を含む5名の定員が増加し、都内の私立大学（帝京大学、杏林大学、東京医科大学）に計4名の群馬県地域枠が新設されました。4月14日の新入生説明会では、アイスブレイクから地域医療枠の上級生も参加し、懇親会を行いました。先輩から、大学生活や学業、課外活動等について、活発な意見交換がありました。

5月26日の新入生県庁訪問では、地域医療枠学生22名、群馬県地域枠学生1名が山本一太知事との懇談の後、「大学生活で人としても成長して、群馬県で活躍していただきたい」と励ましのお言葉をいただきました。



新入生県庁訪問（前列中央：山本一太知事）



新入生説明会（アイスブレイク）

看護師の特定行為研修部門

令和7年度の受講状況

看護師の特定行為研修センターは、令和3年度から当院に勤務している看護師に対して特定行為研修を行っております。地域医療及び高度医療の現場において、医療安全を配慮しつつ、特定行為に必要な専門的な知識及び技術を教育し社会に貢献できる有能な看護師を育成することを研修の目的としています。

令和7年度は、本院の状況を鑑みて新たに集中治療領域パッケージのコースを開講いたしました。そして、集中治療領域パッケージと動脈血液ガス分析関連と術後疼痛管理関連を1名、ICU関連セット研修を1名、栄養に係るカテーテル管理（末梢留置）関連を1名の合計3名が受講しています。手術室やICUでは研修を修了した特定看護師が臨床の現場でその手腕をふるって活躍しています。受講にあたっては受講料などの免除規定や、看護部にご協力いただいて週1日程度の研修日を設けてもらう等のサポートもありますので、少しでも興味がある方は一度ご連絡いただければと思います。

ご指導いただく先生方におかれましては、実技指導のみならず、実習にご協力いただける患者様へのインフォームドコンセントなど、ぜひ積極的にご協力いただけますと幸いです。

3名が受講修了！ 修了証授与式

令和6年度に3名の看護師が特定行為研修を修了いたしました。日頃の皆様からの手厚いご指導の賜物と存じます。感謝申し上げます。5月8日（木）には、特定行為研修修了証授与式を実施いたしました。式では、齋藤病院長から修了者へ修了証の授与を行っていただき、その後、病院長、田中センター長、河村看護部長から挨拶をいただきました。修了した特定行為区分は、外科術後病棟管理領域パッケージ（1名）ICU関連セット研修8区分（1名）栄養に係るカテーテル管理関連（1名）です。

今後、他の特定看護師とともに臨床現場で活躍してもらいますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

